

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	77	学校名	浜松大平台高等学校	校長名	清水 淳次
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 重点的に育成を目指す資質・能力

- ア 進路決定力……将来を見据えた進路決定力
- イ 基礎学力……基礎力と専門性を兼ね備えた確かな学力
- ウ 言語力……読む・書く・話すための言語力
- エ コミュニケーション能力……他者と協働・共生できるコミュニケーション能力
- オ 様々な視野・感受する力……ローカルからグローバルまで様々な視野で物事を感じ取る能力
- カ デザイン思考力……自らの課題と解決方法を主体的に模索するデザイン思考力
- キ 心身の健康……生涯を通じて健全な生活を送るための心身の健康を保持する力

(2) 目標具現化の柱

- ア キャリア教育を根幹とし、3年間を通じた進路指導の充実を図る。
- イ 総合学科の強みを生かした授業改善と、教科横断的な学力の獲得に努める。
- ウ 読書やN I Eの活用を通じて、生徒の言語能力の充実を図る。
- エ 教育活動の中でプレゼンの機会を多く設け、知識の出し入れを頻繁に行うようにする。
- オ 地域との連携を深め、生徒・保護者・地域の人々に信頼される学校づくりに努める。
- カ 部活動や特別活動の充実に努め、たくましさや豊かな心を培う。
- キ 安全・安心で心地よい教育環境を確保する。
- ク 学校事務の適正な執行に努めるとともに、業務改善を行うことで、職員の多忙化を解消する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	1年次から高い志の育成や体系的なキャリア教育を推進し、進路希望の実現を図る。	自己理解を深め、進路希望を早期に確立させる。	「将来に対する夢や希望を持っている」70%以上（R3:77%、R2:78%、R1:66%）	進路課 教務課 生徒課 保健課 各年次 各系列
		キャリア教育に結びついた系列学習を推進する。	各系列で地域・大学・企業等と連携した活動をする。	
		自己肯定感・自己有用感を育成する。	「自分にはよいところがある」80%以上（R3:83%、R2:79%、R1:75%） 「ボランティア活動をしたことがある」20%以上（R3:42%、R2:46%、R1:14%）	
		自己の進路を実現させる。	「自分の希望する進路が実現できた」（3年次生のみ）80%以上（新規）	
イ	基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める。	「高校生のための学びの基礎診断」の測定ツール等を活用し、学力向上のために指導方法の工夫・改善を図る。	到達度テスト正答率60%以上（R3:1年54%・2年54%・3年61%、R2:53%、R1:58%） 「授業がわかる」70%以上（R3:86%、R2:86%、R1:66%） 高校生のための学びの基礎診断」を授業改善に生かしたと答える教員70%以上（R3:73%）	教務課 研修課 各教科
ウ	文章に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	朝読書を確実に実践し、読書の楽しさを実感させる。	朝読書で読んだ本の数 年間5冊以上の生徒 50%以上（R3:31%、R2:38%、R1:41%） 「図書委員・先生方のおすすめの本」を定期的に発行（R3:年4回、R2:年6回、R1:年7回）	図書課

エ	授業や学校行事などにおいて、他者と協働して意見交換する機会を多く設ける。	他者の意見を聞き、自分の考えを再構築する力を養う。	「他者の意見を聞き、自分の考えを深めることができた」60%以上 (R3:88%、R2:85%)	各系列各教科
		考えたことをわかりやすく伝える力を養う。	「自分の考えをわかりやすく伝えることができた」80%以上 (R3:72%、R2:64%、R1:74%)	各系列各教科
オ	保護者や地域から信頼される学校づくりに努める。	本校の教育活動に関する情報収集・発信をする。	H P への地域貢献活動の掲載、更新 P T A 広報誌「桑の木だより」の年 2 回発行、内容の充実 (R3・R2・R1:年 2 回発行)	研修課 総務課
		学校行事に多くの来訪者がいる。	オープンスクール・文化祭への来訪者の増加 (R3:オープン 224 人・文化祭 55 人、R2:オープン 448 人・文化祭 0 人、R1:オープン 309 人・文化祭 1300 人)	教務課 生徒課 各年次
		生徒・保護者から信頼される教員、学校になる。	「信頼できる先生がいる」70%以上 (R3:74%、R2:74%、R1:68%) 「わが子をこの学校に入れてよかった」95%以上 (R3:92% R2:90%、R1:91%)	
		挨拶を励行する。	近所に人や知り合いの人に挨拶している割合が 90%以上 (R3:92%、R2:91%、R1:89%)	
カ	個性の伸長をはかり、自主的・実践的態度や望ましい人間関係を形成する力を養う。	集団活動を通して、責任感や協調性を育む。	「学校行事・委員会活動・部活動等を通して責任感・協調性が育まれた」生徒の割合 80%以上 (R3:93%、R2:90%、R1:76%)	生徒課 各年次
		充実感のある部活動を推進する。	「部活動は活発で充実した活動を行っている」85%以上 (R3:82%、R2:80%、R1:83%)	生徒課 部活動
キ	生徒が安心して学校生活を送れる環境整備を行う。	指導・支援により心身の健康回復を図る。	「心の健康調査」「いじめアンケート」を活用した悩みを持っている生徒の早期発見 歯科及び視力治療率 80%以上 (R3:歯 83%・視 93%、R2:歯 73%・視 94%、R1:歯 60%・視 80%)	保健課 総務課 事務部
		防災・減災の能力を高める。	体験型避難訓練の実施 (R3・R2:体験型訓練〈未実施〉、R1:AED 訓練実施) 災害時の留め置き用装備品の完備と防災用具の取扱研修の実施 (R3・R2・R1:実施)	
		学校施設・設備の整備・充実を図る。	安全点検を年 2 回以上実施 (R3・R2・R1:2 回) スピーディな修繕により事故ゼロ (R3・R2・R1:事故 0 件)	
ク	教育活動が行われるための環境を整えとともに、業務改善により職員の多忙化を解消する。	光熱水費を節約する。 予算を有効に執行する。	光熱水費の節約を教職員に呼びかける。節約した予算を教育活動に振り分ける。 12 月までの予算の執行率 80%を目指す。 (R3:82%、R2:62%)	事務部
		時間外勤務を縮減する。	定時退勤日(毎週水曜日)の設定 部活動の週 1 日以上の日設定	管理職